



令和4年

12月のほけんだより

境南第2保育園

今年もあと1か月となりました。最近朝晩と寒く、体調を崩しやすい時期ですので、注意が必要です。また冬に流行する感染症について知り、対策をしましょう。

インフルエンザ

潜伏期間 1～3日間

症状 高熱(38～40℃)が、3～4日間続くが、通常1週間ほどで症状は回復。

倦怠感、食欲不振、関節痛、筋肉痛、咽頭痛、鼻水、咳。中には、気管支炎、肺炎、中耳炎、熱性けいれん、急性脳症などの合併症もある。

家庭での留意点 脱水症状を防ぐために、十分に水分補給をし、安静にすることが大切。

登園の目安 幼児の場合発症から5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過してからです。

冬に流行する感染症

RSウイルス感染症

最近では通年を通して聞くようになったRSウイルスですが、流行のピークは冬とされています。

潜伏期間 4～6日間 通常感染してから2～8日間

症状 発熱、鼻汁が数日続く。(多くは軽症)
中には喘鳴、呼吸困難、場合によっては、細気管支炎、肺炎へと悪化することがある。

家庭内での留意点 子ども本人、周囲の人が手洗いをすること、マスクの着用、人混みを避けるなど対策が必要です。

登園の目安 解熱し、呼吸器症状が消失してからです。また全身の状態がよいことも大切です。

ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス感染症)

潜伏期間 1～3日間

症状 嘔吐、下痢。脱水症状を合併することがある。

家庭内での留意点 感染力が強いいため、手洗いの徹底などで予防を心がけます。

嘔吐の強い場合は、絶食して水分を少量ずつあたえます。下痢がひどいときは、乳幼児用のイオン飲料などをあたえます。

感染した場合、便や嘔吐物に多量にウイルスが含まれているので処理には注意が必要です。

登園の目安 嘔吐・下痢の症状がおさまり、普段の食事がとれるようになってからです。

嘔吐物の処理方法

嘔吐物は二次感染を防ぐため、速やかな処理が必要です。

<手順>

- ① 手袋・マスク・使い捨てエプロン(あれば可)を装着する。捨ててもよい布や紙を嘔吐物にかぶせて飛び散りを防ぎ、消毒液(塩素系漂白剤などを薄めたもの)をかける。
- ② 嘔吐物を外側から内側に集めるように拭き取る。
- ③ 拭き取った物は、消毒液を適量入れたビニール袋(2重)へ入れて、密封する。
- ④ 汚れた所とその周辺を、消毒液に浸した布で拭き取る。
- ⑤ 使った物(布、手袋・エプロン・マスク・シューズカバー)を全てビニール袋(2重)に入れ、密封し捨てる。
- ⑥ 最後に石けんで、しっかり手を洗い、うがいをする。

※窓を開けて換気を行い、処理をしましょう。



年末年始の急病は

年末年始はほとんどの医療機関にて休日診療を除き、お休みとなります。子どもの急な発熱やケガに備えて、事前にかかりつけの病院、他近くの救急病院の診療時間、休日診療日を確認しておきましょう。

★12月の保健日程(予定)

0歳内科:6日(火)

全体内科:15日(木)

<11月の感染症情報>

●風邪症状:39名 ●中耳炎:5名

●ウイルス性結膜炎:1名